

平成30年9月10日

杉並区議会議長  
大熊 昌巳 様

道路交通対策特別委員会  
委員長 奥田 雅子

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 平成30年6月12日

##### (1) 報告聴取

##### ア 外環道の進捗状況について

##### (ア) 工事進捗状況

- ・大泉 JCT：本線シールドマシン発進のための立杭工事及び本体との連結路の橋梁工を実施
- ・中央 JCT：連結路トンネルのシールドマシン発進のための立杭工事及び地下連結路の工事等を実施
- ・東名 JCT：本線シールドマシン掘進のための施行基地の整備等を実施

##### (イ) 用地取得状況

平成30年2月末時点の面積ベースとして、全体で用地買収率は91%、地上権取得率は75%が取得、設定されている状況である。(青梅街道インターチェンジは14%)

##### (ウ) 東京外環トンネル工事の安全・安心確保についての考え方のまとめ

東京外かく環状道路(関越～東名)は、初めて大深度地下領域を全面活用し、市街化された地域の地下に大断面のトンネルを構築する工事であることから、施工時の対応をより万全にするため、平成30年3月23日、東京外環トンネル施行等検討委員会により示された。

## イ 杉並区の交通対策について

### (ア) 自転車放置防止対策

- ・ 駅周辺の乗入台数・放置台数と撤去台数の推移

自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去活動、クリーンキャンペーンなどの啓発活動により、放置自転車は年々減少している。

- ・ 自転車駐車場

昨年度の民営自転車駐車場の建設補助件数は6件

- ・ 放置自転車防止の啓発活動

放置防止協力員は現在395名がボランティアとして活動し、また、昨年度の放置自転車クリーンキャンペーンは、380名が参加している。

### (イ) 南北バス「すぎ丸」

3路線の1日あたりの利用者数は、微増ではあるが、年々増加している。

### (ウ) 区内の交通事故件数の推移

事故件数は減少傾向だが、自転車関与事故が都内平均を上回る状況である。

### (エ) 交通安全の啓発活動

- ・ 自転車安全利用実技講習（対象は区立小学校4年生）

自転車ルール、マナーの実技講習を警察と協力して実施しており、29年度は41回、3,326人が参加している。

- ・ スケアード・ストレート

スタントマンによる交通事故再現型の講習会を中学校と、一般向けに実施しており、中学校では、29年度、2,350人が参加している。

- ・ 一般世代（高齢者・保護者ほか）向け講習会

ゆうゆう館、保護者、町会などからの開催依頼を受けて、職員が講師として出向く出前型と、「はじめて学ぶ自転車のルール」と題し、平日の夜や週末に警察署とともに開催する講座型を実施している。

- ・ 自転車用ヘルメットの普及促進

子供用自転車ヘルメットのあっせん販売を昨年度2回実施し、販売実績は55個である。

- ・ 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納支援の促進

75歳以上で自動車運転免許証を自主返納した方のため、昨年度750名に移動支援としてIC乗車券を支給している。

- ・ ストップ・ザ・マナー違反自転車キャンペーンの実施

高円寺の庚申通りと天沼の教会通りで、地元町会、警察署等と協力し、自転車の安全走行と駐車場利用促進の呼びかけを29年度、3回実施している。